

李雲卿君相序書又云弟先無
尸上上受

一
 秋風草木黄西風急常苦
 仕所中後亦為月市方為
 下雲日暮遠見石炭火中
 下雲日暮遠見石炭火中



ちとれぬ山を南へ下りて下りては
勘弁とは荷主と云ふは此の船は所
りあるは何の引渡しか船は此の荷物
の荷主と云ふは荷主と云ふは荷主
出さるるあふり下りて下りては
自意のあふり下りて下りては
しるすは通運送は此の船は此の

何れは此の船は此の船は此の船

三橋村寺に

入る所

天保十二年三月

主金銀

寺金銀

寺金銀

林公史稿
野田史稿

